

チャンドラ号



チャンドラ号は、アメリカフォード社製で昭和3年5月(1928年)に出町消防組に導入され、昭和41年4月まで38年間、第一線で活躍しました。

また、県内各地の大火にも駆け付け、大活躍しました。

昭和	5年	9月	5日	新湊大火
昭和	7年	5月	26日	高岡市守山大火
昭和	13年	9月	6日	氷見大火
昭和	16年	4月	16日	新湊大火
昭和	19年	5月	7日	出町大火

現存するエンジン付消防車としては県内で最も古く、「とやまの近代歴史遺産百選」に選出されています。

昭和58年～平成27年8月まで、砺波市チューリップ公園に展示されていましたが、このたび修復されて、防火のシンボルとして砺波地域消防組合砺波消防署敷地内に展示されています。

チャンドラ号と最新式の消防自動車を比較することで、防火広報のみならず消防装備の発展を身近に感じていただいております。

見学についてのお問合せ先

砺波地域消防組合砺波消防署 総務係まで

0763-33-0119